

【0012・たんぼぼ舎・反原発資料『技術と人間』】

資料群概要

作成主体：たんぼぼ舎（代表：柳田真）

資料群名称：たんぼぼ舎・反原発資料・『技術と人間』

年代：1981年1月から2003年9月号まで

要約：

環境・原発・核などを軸に報道しつづけた『技術と人間』（月刊）のバックナンバーからなる反原発資料である。チェルノブイリ事故報道を含め、いくつもの貴重な論文が含まれる。

総量：4箱 46ファイル（248点）

受入番号：0012

言語：日本語

資料群の管理と利用に関する情報

出所：

たんぼぼ舎が作成した反原発資料は、文書資料と映像資料（関連資料群 0013、0014）からなり、全 248 号分の『技術と人間』のバックナンバーからなる本資料群（以下、本資料群と略記）は、そのうちの一部である。環境問題の総合雑誌である『技術と人間』は、技術と人間社から刊行された月刊誌である。本資料群は、もともと坂悦子氏の所有であったものを、たんぼぼ舎が寄贈をうけた。その後、本資料群は、2010年10月4日、たんぼぼ舎より、所蔵する反原発資料（視聴覚資料や『たんぼぼニュース』）と一括して、環境アーカイブズへ寄贈されたものである。

また、たんぼぼ舎によって 2010 年までに収集された資料のうち、映像資料は環境アーカイブズにて原本を所蔵しているが、紙媒体の資料は、そのほとんどがたんぼぼ舎に所蔵されている。

他機関所蔵情報：

『技術と人間』は、国会図書館ほか、法政大学図書館、東京大学総合図書館、北海道大学附属図書館、京都大学附属図書館、沖縄国際大学図書館をはじめとした大学附属図書館、国立民族学博物館情報管理施設、(財)労働科学研究所図書館、農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターをはじめとした研究機関などに所蔵されている。

関連する資料群：

たんぼぼ舎反原発関連資料のうち、環境アーカイブズ所蔵の資料として、たんぼぼ舎から寄贈された関連文書資料(0013・たんぼぼ舎・反原発資料『たんぼぼニュース』)および映像資料(0014・たんぼぼ舎反原発(その他)映像資料)がある。

利用の形態：

原資料での閲覧

整理方法についての情報：

環境アーカイブズ資料公開室に寄贈された本資料群は、年別に3～6冊を1ファイルとして中性紙封筒に入れ保管している。作業期間中には、震災の影響により一時的に期間作業を中断した期間も含まれる。リストの修正、資料群概要の作成および最終的な取りまとめは、大原社会問題研究所環境アーカイブズ RA 鄭育子(ちよん・ゆくちや)が行い、2015年3月に公開した。

引用する場合の表記方法：

たんぼぼ舎・反原発資料『技術と人間』、受入番号0012、各箱番号、各ファイル番号、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ

利用制限：

公開を目的として刊行された資料のため、特に制限はない。

作成者の権利について：

所有権は、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズにあり、著作権は個々の資料による。

作成主体についての情報

たんぼぼ舎は、東京都千代田区に拠点を置く市民団体である。原発廃止と環境破壊のない社会を目指し、市民と公務員の参画により1989年から活動を開始した。これまで国内での勉強会、公害研究会や原発研究会、現地ツアーをはじめ、ニュース・パンフレット・小冊子などの発行、資料公開等の活動を行ってきた。その他、チェルノブイリ原発事故を契機として1988年から2011年まで食品の放射能汚染の計測を行っており、その結果はホームページで公開されている。

現在は、環境・反原発・地震・エネルギーの研究会活動、ニュース・パンフレット・小冊子などの発行等の発行、資料公開等の活動を行っている。また、2011年より協力参加した原発反対自治体議員連盟(準)の活動は、現在も反原発自治体議員・市民連盟として継続するなど、様々なネットワーク活動も行っている。

参考資料

金慶南・柳田真・近藤ゆかり(2011)「環境アーカイブズとサスビナリティの探求」『サス研フォーラム講演記録集第13回』,法政大学サスビナリティ教育研究機構。

ウェブサイト

たんぼ舎ホームページ <http://www.tanpoposya.net/>

スペースたんぼ (映像配信ページ) <http://www.ustream.tv/channel/spacetanpopo>

反原発自治体議員・市民連盟 <http://nonukesjapan.org/>

資料群の内容

本資料群は、『技術と人間』のバックナンバー248号分からなる。『技術と人間』は、現代技術と人間の関係を、原子力、生命科学、コンピュータ、公害・環境問題といったあらゆる角度から問い続けた雑誌である。『技術と人間』は、1974年4月より月刊誌として技術と人間社から発行され、2005年10月に通巻359号をもって刊行が終了し、休刊している。